

特集

第7回 SRお客様交流会

2008年7月11日(金)
in 大田区産業プラザPiO

「SRを有効活用するために情報交換ができる場を提供できないか?」と始まった、『SRお客様交流会』。今回で7回目を迎えることができました(52社77名様参加)。「安全と環境」をテーマに、当日は4社様に、ご講演いただきました。

ご講演

1. 「安全と環境」について ～具体的な取り組みとその成果～(中間報告)
社団法人 東京都トラック協会 殿 P1
2. セイフティレコーダは「観る」より「意識」させるもの
日隆産業株式会社 殿 P2-3
3. SR(セイフティレコーダ)で、安全マネジメントとエコドライブ促進!
東京空港交通株式会社 殿 P3-4
4. 組合の事故防止対策事業について
～SRによる安全運転指導方法～
九州トラック交通共済協同組合 殿 P5

特集
1

「安全と環境」について ～具体的な取り組みとその成果～(中間報告)

社団法人 東京都トラック協会

環境部 部長 遠藤 啓二 様



安全と環境の両面から、 3年で交通事故半減をめざして

環境対策で効果! 「東京の空がきれいになった」

東京都トラック協会は、首都東京のライフラインの一つ、物流を担う立場から、環境保全や交通事故の防止など、さまざまな事業に取り組んでいます。都の環境確保条例施行により、大型貨物車やバス等へのDPF*の装着義務や排ガス規制の取り組みが始まりました。しかし、事業者にとっては、数台のDPF装着でも大変な負担。痛みを伴う政策でもありました。事業者の真摯な取り組みにより、2005年に初めて、都内全ての測定局で環境基準値をクリア。2007年には皇后陛下から「空がきれいになったようです」とお言葉をいただき、東京都知事は、自ら東ト協を表敬訪問してくださいました。諸対策の効果として、トラックから排出されるCO₂は、全体の3~4%と非常に少ない排出量でおさえられています。効率的な輸送を心がけている成果だといえるでしょう。

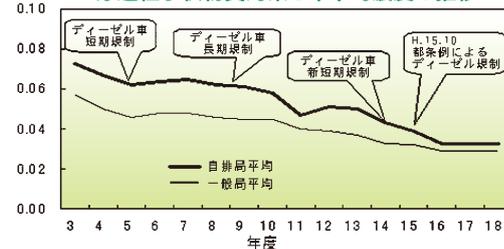
*DPF・・・ディーゼル排気微粒子除去装置

会社概要

社団法人 東京トラック協会

協会名: 社団法人 東京トラック協会
協会所在地: 東京都新宿区四谷3丁目1番8号
TEL 03-3359-6251
FAX 03-3359-4695
支部構成: 各区単位及び多摩、路線、環境、島嶼
設立: 1966年10月25日
会長: 星野 良三
会員数: 4,000社
車両数: 87,000両

浮遊粒子状物質対策と年平均濃度の推移



交通事故根絶に向けた対策「3年間で交通事故半減を目指す！」

2007年から2009年の3年間で、交通事故の半減を目標に掲げて取り組みを実施。①事故防止大会の開催、②東ト協 星野会長からの会員代表者宛の書面発送、③ドライブレコーダ導入支援など、意識活性化の具体的な施策を実施しています。ぜひ助成制度を活用し、事故撲滅に向けて取り組んでいただければと思います。

2007年～現在(2008/6/19) ドライブレコーダー助成状況

予算数	予算助成金額
38,000台	770,000,000円

助成数と助成金額実績	助成数	助成金額
車載機器	5,712台	273,516,000円
解析ソフト	308個	12,793,000円
合計	6,020台	280,000,000円

SR導入事業者の効果例

1. 事故件数 87.8%削減!
2001年 49件 → 2007年11月末 6件
2. 燃費効果 向上率 12.7%!
2005年 4.7km/ℓ → 2007年 5.3km/ℓ

CO₂削減計画 グリーンエコプロジェクト

地球環境対策として、グリーンエコプロジェクトを推進させ、燃費向上や省エネ法にも対応しています。プロジェクト参加企業内では、交通事故44%削減に成功し、燃費も9.2%の向上率という高い成果が見られています。多くの事業者に、このプロジェクトの参加を望みます。





日隆産業株式会社 姫路営業所

運行管理責任者 **川原 進** 様

会社概要

日隆産業株式会社 姫路営業所

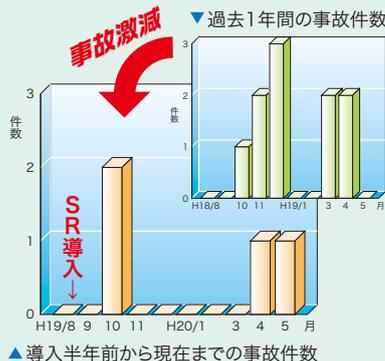
会社名 日隆産業株式会社
 営業所所在地 兵庫県加西市網引町字丸山2001番40
 TEL & FAX 0790-49-1702
 設立 1987年2月
 営業所責任者 川原 進
 営業所従業員数 36名
 営業所事業内容 大手コンビニエンスストアのチルド食品など、
 2温度帯にて配送
 営業所車両台数 3t車 16台 4t車 1台
 営業所SR導入 2007年8月 SRVideo 15台

大手コンビニエンスストアL社のチルド食品等の配送を担当。店着時間管理や温度管理も厳しい基準が設けられている。すでに運行管理システムが機能しており、多額の費用もかかることから、SR導入の必要性を感じていなかった。
 しかし、事故が減らないことを荷主様より指摘され、同じ配送に携わる協力会社で既に活用されていたSRを導入。どのように安全意識を高めるか…その問題と向き合ったとき、見えてきた原因は、ドライバーの安全に対する意識の低さ。そこには、会社に対する不満・人間関係の問題なども潜んでいることもわかった。
 SR導入と同時に、姫路営業所の安全のための意識改革がスタートする。

安全への徹底追求が、安心そして「信頼」へとつながる

SR導入の効果

- 1. 事故激減!**
 事故が減り、保険出費を大きく削減
 導入後 ① 件数の減少 2006年8月~2007年5月 10件
 →2007年8月~2008年5月 4件
- ② 事故内容に変化 起きても **軽微なもの**に
- 3. 安全への取り組みから 得られる「信頼」**



SR導入時モデルドライバーを作り、意識を変える ~導入1ヶ月~4ヶ月

SRは「監視するもの」と捉え、ドライバー同士不満ばかりを話題にしていた。SRに対する意識が薄く、得られた画像や点数、危険挙動について関心も持たなければ、確認することさえしない。
 そこで、作戦を考えた。Aさんをモデルとして高得点を出すよう模索した。「お前ならできる。がんばれ!」と励まし続ける。導入1ヶ月後、Aさんは期待に応えてくれた。
 そのタイミングで、SR危険挙動の設定をテスト段階の0.25Gからトラック標準値の0.3Gに戻して運用スタート。全体の危険挙動回数が減り、他のドライバーも「自分も頑張ればできるのでは?」と可能性を意識し始める。
 帰着時、話題をできるだけSRに向ける。点数について、右左折時のポイント、危険挙動の出やすい場所などについて、積極的に会話が生まれてくるようになった。安全に対する意識に変化が見え始めた。



SR先輩企業さまからの導入経過報告in交流会

2社様より、導入後の経過について、ご報告いただきました。

北関東物流株式会社 殿

北関東物流株式会社
 代表取締役社長 神成 光輝
 所在地 栃木県下都賀郡壬生町壬生乙3486
 事業内容：一般貨物運送業
 車両台数：50両 2007年10月 SRVideo導入 50台

SRはドライバーを守るための安全測定器

SRは、管理するためのものだけでなく、ドライバーの身を守るためのものと全員で認識。各営業所支店長や管理者と会議を繰り返し、また、地域特性である、隣県へのライバル意識の強さを利用し、競争心を高めている。
 いわれたことを実行すれば、SRの点数になって表れることを自覚し始め、安全に対する意識が向上。この意識を持続してもらいたい、と安全運行手当て運用を2008年2月に開始。
 現在の課題は、50点前後で低迷しているドライバーへの対策。継続運用し、更なる安全・燃費向上にも努めたい。

- SR導入の効果
- 1. 燃費20%向上**
 - 2. 点数向上により、手当支給者増加中!**

2007年12月 ドライバーコンテスト実施
 上位者10位表彰：10,000円
 最優秀5位表彰：さらに10,000円
 2008年 2月 安全運行手当制度スタート：5,000円/月
 【条件】平均80点以上/規定日以上の業務/無事故の場合

■ ベテランドライバーの意識改革 ～導入5ヶ月

自分のやり方を徹底して変えないベテランドライバーBさん。理解を求めてわからない人はいない。しかし、プライドが高い人ほど、人に言われて行動するのは嫌う。様子を見ながら、その機会をひたすら待っていた。あるとき、Bさんが事故を起こす。画像を見ながら会話をする。「避けられない事故ではなかったはずだ。」共に話し合った。

この機を境にBさんは変わる。SRに興味を持ち、試行錯誤を繰り返す。その姿は、周囲にも大きな影響を与え、意識向上をもたらした。

■ 運行管理責任者としての熱い思い

ドライバーは運転のプロ。運転技術を磨き、プロ意識を高めてもらいたい。点数よりも、SRに向き合う姿勢を‘観る’。姿勢こそが意識の表れに他ならない。そして、その努力は報われなければ意味がない。また、事故を未然に防ぐために、ドライバー自身にも‘観る’意識を高めることを求めたい。そのために、どのように導くか。それが重要だと思っている。

現在の取り組み

- 報奨金制度の導入
SRのランキング成績と会社・社会への貢献度、日常業務のルール・マナーを評価
- 日産産業オリジナル計算方法でランキング発表
- SR画像を利用したKYTの実施(月平均6回開催、1回は受講必須)

事故ゼロを実現し、お客様の信頼を得るために

【日産産業の指導方針】

- 安全への意識付けをすることが重要。辛抱強く機会を待つ
- その機会を逃さずに、何が起ころうとチャンスととらえ、指導する
- コーチングに従い、対話を重視。教えるのではなく、自分で意識させ、見付けさせる
- なぜそれをするか、理由を伝える。いい結果が出たときには褒めることを忘れない

特集
3

SR (セーフティレコーダ) で、安全マネジメントとエコドライブ促進!

東京空港交通株式会社

運行本部 運行管理部次長

伊東 祐一郎 様



会社概要

東京空港交通株式会社

会社名：東京空港交通株式会社
 会社所在地：(本社) 東京都中央区日本橋箱崎町22番1号 TEL 03-3665-7117
 営業拠点：事業所(車庫) 羽田(昭和島)・平和島・箱崎・成田・羽田空港内・成田空港内
 設立：1954年12月16日
 代表者：代表取締役社長 鈴木 光男
 従業員数：983名(2008年3月31日現在)
 事業内容：旅客自動車運送事業 成田・羽田空港計58路線(成田23,羽田33,その他2)
 車両台数：乗合 354両, 貸切 43両, ランプ 65両
 SR導入：2007年1月 40台 11月 60台
 2008年2月 20台 5月 13台 合計SRVideo 133台

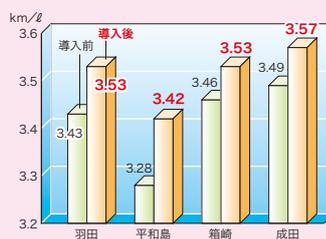


空港アクセスバスのパイオニアとして、フライトに直結した、空港への利便性のよいアクセスを提供しています。業務無線、車両位置管理システムを搭載し、コントロールセンターによる一元管理を実施。大型トランクルーム完備のリムジンバスで、毎日20,000人のお客様にご利用いただき、105,000km/日を走行。お客様へのサービス向上に努め、乗務員・係員が手荷物収納を担当するなど、さらなる取り組みを進めております。

安全に対する意識が確実に変化!

■ SR導入の効果

- 1. 安全意識の向上!**
① SR搭載車の事故・クレームは少ないという傾向が見えた!
② 他の施策と併せ、大幅に事故減少
2008年4~6月は、前年比48%減
- 2. 燃費の向上**
SR搭載車両全体で2.85%改善!



▲ 燃費の改善 (SR搭載車両)

■ SR導入の背景

SRの導入は、運輸安全マネジメントとEMS推進のために検討を始めた。経営面、安全面、事故減少による効果として、費用削減も期待できる。また、他のバス会社様で導入実績があり、結果を出している点も評価し、決断した。

茂木運輸株式会社 殿

(データ・テック福岡事務所が山口社長に代わりご報告)

茂木運輸株式会社

代表者：代表取締役 山口 新吉
 所在地：長崎県長崎市茂木町1682
 事業内容：一般貨物運送業 (ビール・石油製品の運送等)
 車両台数：20両
 SR導入：2007年10月 SRPocket 12台
 2008年 3月 SRPocket 1台 計13台

安全の原点は家族にあり!

会社の方針「仕事とは、家族を幸せにすること」。そのために会社としてできることは、社員(家族)の安全を守ることと考え、SR導入を決定。SR導入により、管理者とドライバー、さらにドライバー間の安全に対するコミュニケーションが増加。SRにより得られた利益は、社員およびその家族も参加するイベントを開き、還元している。今後の展開としては、①SRを全車両に取り付け、②表彰制度の確立を図り、③「安全は家族とともにある」との思いから、家族も表彰することを計画している。

SR導入の効果

- 1. 燃費10%向上!**
SR装着前 3.04km/ℓ
→SR装着後 3.35km/ℓ
- 2. タイヤ磨耗の削減**
やさしい運転により、
タイヤの磨耗が少なくなった!
- 3. 事故の削減**
自動車の任意保険料が下がった

■ リムジバスの安全対策

SRを使った社内安全教育のほか、社外教育も実施。一人ずつの研修を充実させている。「マルチGセンサ」と呼んでいる、測定装置を運転席横に乗せて走行。これは、前後あるいは、左右に0.2G、0.5G、0.7Gなど想定されたGがかかった運転をしたとき、相応する測定器が倒れるというしくみのもの。自身の運転がその場で測定されるので、実体験としてすぐわかる。

マルチGセンサ



SRの測定G値と、ほぼ同じです

安全への取り組み(その他) = 研修・講習会の実施

- 社外研修
年間120名が自動車安全中央研修所(茨城県ひたちなか市)で1泊2日のコースを受講
【座学・生理的盲点の体験・限界走行・適切な運転操作】
- 社内研修
乗務員安全研修
【安全講話・体験乗車・SR画像例】
経路慣熟訓練
サービス研修



■ SR搭載車実績から見られる傾向

SR運用手順

SRに興味を持たせ、メモリスティックの受け渡しなどの際に、「何点だった?」という対話などを持つことを重視している。頻繁に低い点数を出すドライバーには、個別に指導を実施。また、指導する管理責任者へも管理者研修を行っている。意識、動作、技術の改善点を見極めて、適切で、且つ、早めの指導を心がけている。

【指導のポイント】

- 乗務員との対話を心がけ、結果と原因、改善点について理由を踏まえて指導する。
- 得点について、不用意に他人に流布しない。
- 頻繁に低い点数を出すなど特定の傾向が見受けられる場合は、上長、運行本部、研修センター等の協力を得て、添乗指導を行い、運転癖や安全意識等の原因を究明し、改善を図る。
- SRの結果がすべてではないが、目安であることも理解させる。

SR搭載車データより分析

80点以下の点数の場合は、1日の乗務中、何らかの問題挙動が複数回ある。画像からわかることは、回送中、待機所、車庫内での注意挙動が多いこと。お客様を乗せているときとそうでないときの表裏があるのでは?と考えられる。一般道では、交差点における右左折時の、旋回加速度が原因のものが多い。基本的に、SR搭載車で事故を起こすと画像が残る、恥ずかしいという心理が強く、事故率も非常に低い。

■ 今後の課題

本年度中にSR搭載車150両体制をめざしたい。SRの有効性は十分に認識している。まだまだ軽微な事故に対するの対策が必要。また、SR搭載車両増加に対応する解析・指導の体制も必要。安全への意識向上を更なるものに、つなげていきたい。

SR運用手順

- ① メモリスティックを受け (種別車種ではないのでメモリスティックは車両種別専用)
- ② 診断ソフトで運行結果を解析
● 点数・レーダーチャートの色の確認
- ③ 結果を乗務員に伝え、また必要に応じて運転診断結果画面をさせる。
- ④ 点数の低い項目があった場合は心当たり乗務員に尋ねる。
- ⑤ 夏に診断ソフトで危険挙動画像・注意挙動画像の有無を確認する。
- ⑥ 点数、危険挙動画像をメモリーカード受渡し表に記載する。(指導した場合は縦書き含む)

ETCレーンで 開閉バーが開かない!

**SR画像
ピックアップ!**



ETCレーン進入時は、時速20kmまで減速していても、バーが開かないこともある。十分な減速が必要!

このような日常の運行から得られるヒヤリハット画像も、研修で見せ、安全教育に活用しています。

教えて! SR先輩企業さま

～お客様の質問に先輩企業さまがアドバイス～

Q1. 高得点をめざすと「仕事に影響が出てしまう」「あおられる」と悩むドライバーへ、どうアドバイスしたら良いか?

- A:** ・お客様の荷物を運んでいる、その意識が重要。大切なおお客様の荷物の品質に影響を与えてはいけません。
- ・商品を守るために、どんな運転をしなければいけないかを考えさせる。
 - ・プロドライバーとして、安全運転をすることは当たり前。そもそも「あおる」という行為が正しいことなのか?から確認させる。法令順守は鉄則。何か起これば、ドライバーの責任になる。さらに、その先を考えると、納品先、管理者、会社、そして自分や家族にも関わってくる。これらの影響を伝え、本人に考えさせる。
 - ・自社で安全運転をしても5分と変わらないという結果を確認できた。信号があらゆるところにあるので、急いでも結局は止まることになる。安全運転が一番確実に早い運転だ。

Q2. 多くのドライブレコーダの中から、SRを採用した理由は?

- A:** ・運転を客観的に正しく測れる機械であったことがポイント。同乗するのと同等に、日常の運転がわかる点を評価している。

・DRを採用している現場を回った。ほとんどのDRの運用は、事故処理に使っていたが、ある運送会社で事故を未然に防ぐため、事故防止に使っていた。それがSRとの出会い。SRを借りてみたら、周囲のドライバーが大変興味をもっておもしろがり、日々盛り上がった。これを運用に生かしていけば、安全運転にも盛り上げられると考えた。

Q3. 導入後、1年以上が経過。褒賞制度にもマンネリ感がでてきてしまった・・・

A: まずは、点数を使い競争させること。次のステップになると、やりがいや生きがいを感じさせることが重要になってくる。SRにも魂を入れてやらないと、ただの箱になってしまう。あなたは誰から求められている? 家族、会社、荷主さま、地域社会、そして仲間から…。大切な人のため、自分のために誇りをもって安全運転をするのだ!という「やる気」をいかに持たせるか。では、どんなときに生きがいを感じられるか? 成功した達成感に他ならない。SRは、その達成感を感じさせてくれる道具になってくれる。「お父さん、会社で100点とったよ!」「金メダルもらったよ!」と家族に伝えてごらんさい。うれしくない人なんていませんよ?



九州トラック交通共済協同組合

部長 嘉村 公成 様

組合員は、ほとんどが中小、零細企業で構成。全国15トラック共済の中で、九州は利益率が悪く、事故率も高い傾向がある。そんな状況を打破するため、2003年から事故防止対策として、積極的な活動を行ってきた。2年ごとに一つの作戦を導入し、徹底して実行している。その成果により、事故は確実に減少してきている。2007年5月に、第3の作戦として、SRを導入。具体的な活動内容を紹介したい。

九州トラック交通共済協同組合

組合概要

組合名：九州トラック交通共済協同組合
 組合所在地：福岡市博多区博多駅東1-18-8（福岡県トラック研修会館内）
 TEL 092-451-7865 FAX 092-472-5888
 設立：1970年5月29日
 理事長：古賀 大
 組合員数：890社
 対象地区：福岡・佐賀・大分・長崎
 契約車両台数：対人共済 11,122両、搭載者 3,618両、
 対物共済 9,965両、車両 935両
 S R 導 入：2007年5月 SRVideo 10台

SR導入の経緯

中部交通共済様の導入実績から、SR導入を決断。SRは、簡単に設置ができて、取り外しができる点、利便性がよい。お客様に設置してもらえるので、使いまわしをすることができます。新たな共済のサービスとして考え、2007年に導入。共済内でどんな機器が試したあと、1ヶ月後から貸し出しをスタートしました。1年間で装着実績車両は436両を数えています。

九州トラック共済のSR運用方法

組合員にSRVideo貸し出し

数：5～10台 期間：1週間
 組合員にて装着・データ収集

組合員から機器返却。共済にて、データ分析・解析

(データ報告方法の選択)

講習会開催

- ・実際に撮れた動画を
使った講習指導
- ・点数結果出力の提供

資料提供のみ

- (講習会の場をもてない場合)
- ・運転診断結果一覧、
出力の提供
 - ・動画をもとに「安全のポイント」
資料提供

安全推進対策として2年ごとに作戦を投入！

過去8年間の発生件数の推移

■対人事故



■対物事故



安全運転対策に新しい試みを導入し、刺激を与えている。

2003年 (H15年度)

その場で結果を確認し、面接(コンサルティング)重視の移動型適性診断を実施。診断担当と面接担当の2名対応。5～10分でも、安全運転について考える時間をつくることが目的。

2005年 (H17年度)

おんが自動車学校との連携。1年に2回以上の事故発生者対象の再教育をスタート。

2007年 (H19年度) SR導入

2009年 (H21年度)
検討中

SRデータを安全教育の場に有効利用

SRVideoから得られたヒヤリハット映像を編集し、安全教育に有効利用しています。ドライバーには、見慣れている身近な場所の映像が登場するので、食いつきがよく、熱心に見てもらえています。

例)右折が危険！あわや親子自転車と事故！

交差点では右折の事故が多い。左折は、巻き込み確認を行ったりするために、速度を十分に落とすが、右折は、早い速度で交差点に入る傾向にある。その分、確認時間が左折に比べてすくないことが、事故が発生しやすい原因。右折の場合も、左折と同様に速度を落とすべき。



対向の歩道上に自転車を確認できる。若干の減速のまま右折を開始。対向の歩道上を進行していた自転車が横断歩道上へと進入。歩道信号は青。時速は約30km



横断歩道上の自転車に気づいて急制動。時速30kmから20kmへ減速。歩道信号は青



横断歩道上の自転車が左にハンドルを曲げ回避行動を行っているのが確認できる。前カゴの幼児がハンドルとは逆の右に振られている。歩道信号は青。時速は約20km



横断歩道上の自転車はさらに左へと回避。上2枚の写真と比較して、自車両がかなり進行しているのが確認できる。歩道信号は青。時速は約20km

まとめ

これまでの安全講習会は、座学が中心だったが、事業者の実走行データ(動画)をもとに、講習を行うケースが増加した。具体的に、運転操作や道路環境における注意点を指導できるため、SRは、事故防止に役立つことがわかってきた。

国際総合物流展2008に出展します

国際物流総合展2008



Asia's Largest Material Handling & Logistics Exhibition
LOGIS-TECH TOKYO 2008

未来を創造するロジスティクスイノベーション
—人と環境にやさしい物流システム—

2008年 **9月9日(火)~12日(金)**
10:00~17:00

in **東京ビッグサイト** (東京国際展示場)

(株)データテック展示ブース: **No.4-301 (東4ホール)**

入場登録料: **¥1,000**

※招待状・事前登録証をご持参の方は無料



データ・テックホームページより事前登録ができます。
トップページにあるバナーをクリックしてお進みください。

データ・テック展示情報

<集中展示コーナー> 「安全安心を運ぶ、環境にやさしいトラック輸送」に出展します

~トラック輸送における輸送品質向上と環境負荷軽減にフォーカスした集中展示コーナー~

新製品展示! SRDigitacho, SRDigitacho+ を展示、ご紹介します。

デモ展開中 ヨーロッパでデモ展開しているセイフティレコーダオンラインシステム『The SAFEcorder System』を展示、ご紹介します。

プレゼン 自社ブース内で、製品紹介プレゼンテーションを実施します。



SR Digitacho.

講演情報

プレゼンテーションセミナーA

日時 9月11日(木) 13:40~14:10

会場 B会場 東6ホール

**「SRで安全マネジメントと
エコドライブ促進！」**

東京空港交通株式会社

運行本部 運行管理部次長 伊東 祐一郎 様

トラック輸送セミナー

日時 9月12日(金) 14:00~14:40

場所 集中展示コーナー内特設会場
(東4ホール内)

**「セイフティレコーダビデオで「やさしさ」を追及…
~荷主様・車輦・従業員・会社・環境への配慮~」**

太陽運輸倉庫株式会社

総務部 総務課 情報システム 永池 伸博 様

株式会社 データ・テック セミナー紹介

SR定期セミナーを開催しています

当社ではアフターフォローの一環として、SR定期セミナーを開催しております。

SRを導入してくださったお客様を中心に、SRの操作方法から点数を基にどのようにドライバーと話をしたらよいかなど、参加者同士で意見交換が行われます。

体験に基づくアドバイスなども数多くいただいております。

スケジュール

参加には、**事前申込み**が必要です。

	8月	9月
東京 (株)データ・テック 東京本社 (大田区 蒲田)	8/22(金)	
大阪 大阪厚生年金会館 (大阪市 心斎橋)		9/19(金)

※日程、会場等は都合により変更する場合があります。
変更になる場合は事前にご連絡いたします。

株式会社 データ・テック

〒144-0052 東京都大田区蒲田5-8-7 K-1ビル8F
TEL.03-5711-7286 FAX.03-5703-7063
http://www.datatec.co.jp